



11月	モニターレポート	担当出張所	伏見出張所
担当区間	国道1号宇治川大橋～三川合流部背割堤（34.6km～42.4km）		
モニター実施日時	令和元年11月12日 9時45分～12時00分		
天候	晴れ		
<p>(見出し)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 国道1号宇治川大橋から下流に向けて、右岸堤防と右岸堤内地及び側帯箇所モニター実施。</li> <li>2 水による被害想定だけでなく、地震による堤防破壊を想定し、地域住民の安全・安心をどのように図るのかをも重要な課題と考え、1に関するモニター実施と共に提起したい。</li> </ol> <p>(内容)</p> <p>1 河川に関する事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 天端の幅は平均して、歩幅で6～7歩、5メートルから6メートルです。</li> <li>② 一般道路と共有している天端の幅は、①以上です。</li> <li>③ 天端に防護柵を施している箇所もあります。</li> <li>④ 天端上に歩道と車道と区別した箇所があります（活用内容が異なるのでしょうか）。 淀大橋と久御山排水機場との間にありますが、このようなしっかりした天端は、ほかには見当たりません。</li> <li>⑤ 余裕高が大きく、底から水面までの高さが低く、表法面が水量で削られ、醜い表法面の箇所が多い。</li> <li>⑥ 低水路の底は見えないことから、堤防そのものの破壊されている部分は、眼に映る箇所、映らない箇所を含めて、改善・修復しなければならない多くの事項が想定されるものと考えられる。</li> <li>⑦ 右岸堤防側では、堤防の裏法面に近い位置に住宅、学校などが見られ、この箇所での河川の氾濫、決壊等の危惧はないものと考えられているのでしょうか。このような事項は、河川事務所の管轄ではなく、地方自治体の行政対応として考えるべきでしょう。責任の有無は、地方自治体ですね。</li> </ol>			
◆ 左岸法面、住宅等		◆ 左岸法面、耕作地等	
			

◆ 堤防右岸防護柵設置



◆ 堤防右岸競馬場付近



◆ 堤防右岸歩道と舗道の2列道



- ◆ 上記のように、左岸と右岸を対比してみると、堤防の天端において異なる箇所が見られた。  
何か理由があるのでしょうか。

- ① 12日、いつものように、八幡のであい館でマウンテンバイクを借り、左岸から上流に位置する国道1号宇治川大橋まで行き、Uターンして右岸堤防を通り、のであい館にもどりました。  
天端は、車道との共有箇所のある場合、天端だけの場合、歩道と舗道が並んでいる場合、防護柵が設置している場合等様々な箇所があることに気が付きました。  
天端の幅も異なっていることも気が付きました。
- ② 11月モニター報告は、河川事務所に対し、お役に立つ報告ができるものは、なかったように思います。
- ③ ペダルを踏みながら、また、別のことを考えました。それは、地震による堤防の破壊、破壊による洪水の発生等です。日本は、世界の地震発生率の最も高い国です。河川の数も多く、急流でもあり、扇状地に生活している人口が多いと言われていています。雨による水害だけでなく、地震による洪水等想定することは、想定外の考えでしょうか。本日は、モニター以外の文章を示し、申し訳ございません。

(意見・感想・処置等)

モニター、ありがとうございました。

堤防天端については、河川管理用通路（一般車両の通行は不可ですが、人・自転車の通行は可）としての利用が、河川管理上ベストです。

ところが、現状では、地方公共団体が道路として、それも車道として、利用していることが多くなっています。道路として使用する場合であっても、必要な範囲に限定されます。

そのため、堤防天端の幅が広い場合には、民地側は道路として、川側は河川管理用通路として利用されることになります。

モニターの箇所は、民地側4mが久御山町道と、川側3mが河川管理用通路となっています。

モニターの堤防区間については、平成21年3月に制定された淀川水系河川整備計画における堤防の高さ・幅については確保されています。

ただ、昨今の気象状況や河川状況を見ても、想定外の事象が起こることが珍しくはありません。

計画通り整備されているからと言って、安易に、100%安全とは言えない時代になりつつあるように思われます。

河川管理者をはじめとし行政機関は、各々の立場で、対策を講じていますが、住民一人一人も、防災の意識を高めて行く必要があると思います。

ちなみに、水防法では、「水防に関する責任は、市町村が有する」となっています。

次回もレポート、よろしくお願い致します。